

# 施策評価調書(内部評価結果)

整理番号 **24**

■ 総合計画(後期基本計画)

政策名	V	パートナーシップ都市
施策名	②	協働と共創のまちづくりの推進

所管部局	所管部局長の氏名
秘書広報広聴課	山副 隆司
企画総務部	新井 清宏
市民部	木村 嘉充

1 関連する個別計画 **PLAN**

個別計画名称	計画概要	計画年次	計画期間	備考
なし				

2 施策目的

優先順位	現状においてどのような問題や課題があって(何のために)	『何を対象に』、『どのようなことを行うことで(又はどのような手段で)』	どのような状態にしたいのか	関連する施策方針
1	地方分権時代となった今、まちづくりには、主役である市民の力が求められている。	市民、自治組織、企業、NPO、ボランティア組織など多様な主体と行政が力を合わせ、知恵を出し合い問題を解決していく環境を整備する。	市民の自主的・自発的な公益活動がさらに活発化し、活力ある住みよいまちを築く。	1 市民活動の促進 4 組織間のネットワークの形成 6 協働と共創の仕組みづくり
2	庁舎から遠距離の地域があることから、	郵便局との協働と共創によって、行政サービスの拡大として郵便局窓口で書証明書の発行を行い	庁舎から遠方地域への市民の利便性を図る。	6 協働と共創の仕組みづくり
3	市政に対する住民の理解と信頼を深めるため	市の保有する情報の公開を図り	市民参加による公正で開かれた市政の推進を目指す。	3 情報公開の推進
4	市民が市政情報を得たり、意見を言える機会を確保するため	広報紙等の発行、ホームページ・フェイスブック・防災行政無線等の活用、市長の地域づくり出前座談会等の実施を図り	市民との情報共有、市民の市政参加の促進を図る。	2 広報広聴の充実
5	地域主体の取り組みの継続性や仕組みづくりをするため	過疎地域や市内全域を対象にコミュニティビジネス支援の検討やモデル事業として久美浜町を対象とした、地域主導の観光ツアー開発や特産品などの販売促進を実施し	地域主体の持続可能な活性化の仕組みづくりや支援制度の設定	5 コミュニティビジネスの育成・支援
6	豊かな自然環境を活用した観光振興や地域の共創を図るとともに地域を活性化するため、	市内(旧町単位)の2級河川の核となる箇所には花が咲く木や花を植樹・植栽するとともに、市内全域に裾野を広げていくような花いっぱい運動を展開し、	市内一体を花いっぱいにしていく。	1 市民活動の促進

3 目標値など

総合計画	めざす目標	指標名	総合計画作成時(H17)		後期基本計画作成時(H20)		直近年度実績値(現状)		目標(H26)	
			年度	年度	年度	年度	年度	年度		
公益活動の新たな担い手を育成します	NPO法人の設立件数	市民力活性化推進プロジェクト事業補助金応募団体数	4法人	H16	14法人	H20	24法人	H24	30法人	H26
			新規	-	14団体	H20	22団体	H24	40団体	H26

個別計画	個別計画名称	指標名	説明・備考	計画策定時	直近年度実績値(現状)		目標	
					年度	年度	年度	年度
なし								

4 構成事業・評価結果一覧

**DO**

**CHECK**

施策方針	事務事業 事業内容(実績)	担当課	予算額(単位:千円)		事務事業の概要								施策評価結果					
			H24決算額	H25予算額(一般財源)	根拠法令	財政負担	単独事業	事業種別	対象	実施手法	関与必要性 数値 説明	施策目的	施策貢献度	今後の方向性				
1 市民活動の促進	1 花いっぱい運動推進事業【明許繰越】	企画政策課	-	566														
	協働による花いっぱい運動を推進するため、河川沿いの堤防等に木や花を植樹・植栽する調査を実施																	
2 広報広聴の充実	2 花いっぱい運動推進事業	企画政策課	-	328(328)														
	花いっぱい運動の推進と市民の気運醸成のため、セミナーを実施・リーフレットを配布 関係団体、府及び市の関係部署の代表による、京丹後花いっぱい運動推進検討会を組織し、検討を開始した。																	
2 広報広聴の充実	1 広報広聴事業【明許繰越】	秘書広報広聴課	815	-	なし	単費	○	サービス	市民	直・委	6	生命財産 権利保護	4	S	現状維持			
	広報きょうたんご4月号発行(21,700部)に係る経費																	
	2 広報広聴事業	秘書広報広聴課	22,442	23,580(21,022)	なし	単費	○	サービス	市民	直・委・負	6	生命財産 権利保護	4	S	現状維持			
3 情報公開の推進	3 市ホームページ運用管理事業	秘書広報広聴課	1,763	1,399(1,399)	なし	単費	○	サービス	市民	直・委	3	個性魅力	4	S	現状維持			
	ホームページなどを活用して、市政情報や地域情報などを市内外へ発信																	
3 情報公開の推進	1 情報公開・個人情報事務	総務課	87	267(267)	国規定	単費	○	サービス	他	直	6	生命財産 権利保護	3	A	現状維持			
	情報公開請求に対して適切な対応(公開請求件数1,490件)及び個人情報の保護																	
4 組織間のネットワークの形成																		
5 コミュニティビジネスの育成・支援	1 水と緑の里・コミュニティビジネス支援条例等検討事業	企画政策課	124	623(623)	なし	単費	○	サービス	市民	直	3	個性魅力	5	A	拡大			
	検討会を開催(2回)し、京丹後市型の条例の制定とコミュニティビジネス支援について検討																	
5 コミュニティビジネスの育成・支援	2 久美浜地域活性化推進事業	企画政策課	10,826	-	なし	国・一部	含む	サービス	事業者	委	3	個性魅力	5	S	現状維持			
	木津川市との交流を中心に久美浜町の魅力ある地域資源の発信やモニターツアーによる周遊観光ツアーの開発等を実施																	
6 協働と共創の仕組みづくり	1 郵便局サービス事業	市民課	673	689(255)	国規定	単費	○	サービス	市民	直・委	4	民間補完 福祉増進	2	B	縮小			
	郵便局と連携し、4郵便局(木津、中浜、野間、野中)窓口で証明書交付(交付件数620件)																	
	2 市民力活性化推進プロジェクト事業補助金	市民協働課	7,500	7,000(4,000)	市規定	単費	○	サービス	団体	補	2	特定サービス	1	S	縮小			
地域の活力向上や課題解決を目的とした事業に取り組む団体へ補助金を交付(22団体)																		
6 協働と共創の仕組みづくり	3 地域振興一般経費	市民協働課	41	26(26)	なし	単費	○	内部管理	-	-	-	-	1	B	現状維持			
	市民参画と協働のまちづくりを推進するための事務経費等																	
			計	44,271	34,478(27,920)													

5. 歳出抑制の考え方について

**ACT**

施策における歳出抑制の考え方	No.	歳出抑制の考え方 (平成26~28年度までの3か年で取り組む歳出抑制)	一般財源抑制見込額 (単位:千円)	補完・代替措置などがある場合は、その内容
	1	市民力活性化推進プロジェクト事業補助金について、他の補助制度との併用を可能としたが、補助対象事業や補助率について更なる抑制の可能性を検討する。	2,000千円	京都府地域力再生プロジェクト支援事業交付金

予算科目	02総務費	01総務管理費	03広報費	01広報広聴事業	
細事業名	01 広報広聴事業（繰越）			決算書	P.80
総合計画	基本方針	V パートナースhip都市	計画項目	② 協働と共創のまちづくりの推進	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
815千円		815千円	0千円	100.0%	815千円
目的	広報紙等の発行により、市民との市政情報の共有、市民の市政参加の促進を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○広報紙印刷製本代 815千円          広報きょうたんご4月号（21,700部、32頁）</p>				
主な財源					
評価・課題等	<p>広報紙を発行し、市民に市政情報を提供することにより、市民との市政情報の共有、市民の市政参加の促進が図られた。</p>				
事業所管課	秘書広報広聴課				

予算科目	02総務費	01総務管理費	03広報費	01広報広聴事業	
細事業名	01 広報広聴事業			決算書	P.80
総合計画	基本方針	V パートナーシップ都市	計画項目	② 協働と共創のまちづくりの推進	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
22,442千円		22,511千円	69千円	99.6%	23,865千円
目的	<p>広報紙等の発行、コミュニティ放送等の活用による広報活動により、市民との市政情報の共有、市民の市政参加の促進を図る。広聴活動により市民の意見等の市政への反映を図る。</p>				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>広報事業では、広報紙及びおしらせ版の発行、防災行政無線及びコミュニティFM等を活用した市政情報の提供を積極的に行った。また子育てや福祉等の支援制度等をまとめた「くらしの支援ガイド」、市の施策の成果等をまとめた「京丹後市白書」を充実させ発行した。さらに8月からフェイスブックの運用を開始し、広報業務の一層の充実を図った。出前講座については、242回開催し、市の施策や制度について周知を行った。</p> <p>広聴事業では、地域を対象とする「市長の地域づくり出前座談会（地域主権型）」を、弥栄・久美浜の2会場で実施（出席者計32人）、また各種団体を対象とする「市長のまちづくり夢座談会」を4グループ（出席者計83人）と実施し、将来の地域・まちづくりに関する意見交換を行った。ご意見箱には204件の意見等が寄せられ、市民からの意見等を反映した市政の推進に努めた。</p>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○広報クイズ当選者賞品（図書カード 500円分×5人×12か月分） 30千円</li> <li>○広報基礎講座、視察研修ほか旅費 74千円</li> <li>○フェイスブック運用に係る視察研修等 48千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・先進自治体視察（吹田市・茨木市3人、武雄市2人）</li> <li>・研修（大阪市内研修会 2回 3人）</li> </ul> </li> <li>○参考図書・事務消耗品代、カメラレンズ代ほか 92千円</li> <li>○広報紙等印刷製本代 16,766千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔 広報きょうたんご（21,700部、平均26頁、12回） 8,042千円</li> <li>〔 きょうたんごおしらせ版（21,300部、平均13頁、24回） 6,563千円</li> <li>〔 くらしの支援ガイド（22,300部） 829千円</li> <li>〔 京丹後市白書「24年度版」（760部） 1,332千円</li> </ul> </li> <li>○広報紙発送料、新聞広告掲載料 245千円</li> <li>○京丹後コミュニティ放送（FMたんご）への市政情報放送委託料 5,003千円</li> <li>○フォント使用料ほか 150千円</li> <li>○広報関係団体負担金（日本広報協会、京都府広報協議会） 34千円</li> </ul>				
主な財源	府補	未来づくり交付金（京丹後コミュニティFM放送委託事業）			2,000千円
	諸収入	広報郵送料負担金			56千円
	諸収入	京丹後市白書販売収入			47千円
評価・課題等	<p>○広報紙及びおしらせ版の発行、また防災行政無線及びコミュニティFM等を活用し、市民に市政情報を提供することにより、市政情報の共有、市民の市政参加の促進が図られた。また「くらしの支援ガイド」「京丹後市白書」の充実、フェイスブックの運用開始により、市政情報等の提供の一層の充実が図られた。また、出前講座の開催により、行政施策や制度の周知が図られた。</p> <p>○ご意見箱の設置、24年度から新たに開催した市長のまちづくり夢座談会などにより、市民参加のまちづくりを推進。</p>				
事業所管課		秘書広報広聴課			

予算科目	02総務費	01総務管理費	08情報化推進費	03市ホ-ム°-ヅ 運用管理事業		
細事業名	01 市ホ-ム°-ヅ 運用管理事業				決算書	P.92
総合計画	基本方針	V パートナ-シップ都市	計画項目	② 協働と共創のまちづくりの推進		
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
1,763千円		1,807千円	44千円	97.5%	1,947千円	
目的	ホームページやプラズマディスプレイなどメディア媒体を利用して、市政情報や地域情報などを市内外へ発信し、市政情報や市の魅力を市内外へ伝える。					
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○旅費 <span style="float: right;">13千円</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ活用研修</li> </ul> </li> <li>○需用費 <span style="float: right;">25千円</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ参考図書、映像記録メディア</li> </ul> </li> <li>○委託料 <span style="float: right;">535千円</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページコンテンツ管理システム年間保守 <span style="float: right;">420千円</span></li> <li>・広報紙等デジタルブック変換業務委託 <span style="float: right;">84千円</span></li> <li>・ホームページシステム改修業務委託 <span style="float: right;">31千円</span></li> </ul> </li> <li>○使用料及び賃借料 <span style="float: right;">1,190千円</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声読み上げ機能ソフト年間使用料 <span style="float: right;">331千円</span> ページ内の文字情報などを音声変換し読み上げるソフトウェア</li> <li>・Web自動翻訳サービス使用料 <span style="float: right;">189千円</span> ホームページの翻訳機能(英語・中国語・韓国語)</li> <li>・ホームページ編集関連ソフト購入 <span style="float: right;">235千円</span></li> <li>・ホームページコンテンツ管理システム <span style="float: right;">435千円</span> ソフトウェアリース料</li> </ul> </li> </ul>					
主な財源						
評価・課題等	<p>○市政情報や地域情報、市の魅力などを市内外へ発信し伝えることができた。また、翻訳や読み上げ機能などにより、外国の方、障害を持つ方に対しても情報を伝えることができた。</p> <p>○ホームページコンテンツ管理システムを利用し、アクセシビリティ(高齢者、障害者に対するホームページ設計基準が満たされているか)等のチェックが図れた。</p> <p>○ホームページ運用の軸となるハード機器の耐用年数が迫っている。機器更新など見直しが必要である。</p>					
事業所管課	秘書広報広聴課					

予算科目	02総務費	01総務管理費	02文書費	02情報公開・個人情報事務
細事業名	01 情報公開・個人情報事務			決算書 P.78
総合計画	基本方針	V パートナースhip都市	計画項目	② 協働と共創のまちづくりの推進
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
87千円		103千円	16千円	84.4 % 262千円

目的 情報公開制度及び個人情報保護制度の適正な運用を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

○ 情報公開・個人情報事務

- ・旅費（11月14日 個人情報保護説明会） 10千円
- ・需用費（書籍等消耗品） 77千円

(1) 公開請求及び公開請求に対する決定状況

実施機関	請求 件数	請求に対する決定内容				
		公開	部分公開	非公開	却下	取下げ
市長	1,366 (1,255)	1,320 (1,242)	44 (6)	7 (6)	40 (21)	10 (6)
教育委員会	114 (100)	111 (39)	3 (2)	0	0	1 (0)
選挙管理委員会	0	—	—	—	—	—
公平委員会	0	—	—	—	—	—
監査委員	0	—	—	—	—	—
農業委員会	0	—	—	—	—	—
固定資産評価審査委員会	1 (0)	0	1 (0)	0	0	0
消防長	0	—	—	—	—	—
議会	9 (3)	9 (3)	0	0	0	0
合計	1,490 (1,358)	1,440 (1,284)	48 (8)	7 (6)	40 (21)	11 (6)

※決定内容の件数は決定書単位で表示し、却下には不存在及び存否応答拒否を含む。

※表中（ ）内数字は、電子申請による請求に係る件数。

(2) 異議申立ての状況 0件

(3) 情報公開・個人情報保護審査会の開催 0回

主な財源

評価・課題等

○インターネットを利用した情報公開請求を運用していることにより、請求者の請求等手続及び費用の負担が軽減され利便性が向上しており、開かれた市政の推進を図ることができた。

○情報公開制度及び個人情報保護制度の関心が高まる中、制度の適正な運用を図ることができた。

事業所管課 企画総務部／総務課

予算科目	02総務費	01総務管理費	07企画費	12水と緑の里・コミュニティビジネス支援条例等検討事業		
細事業名	01 水と緑の里・コミュニティビジネス支援条例等検討事業			決算書	P.88	
総合計画	基本方針	V パートナースhip都市	計画項目	② 協働と共創のまちづくりの推進		
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
124千円		125千円	1千円	99.2%	0千円	
目的	コミュニティビジネスを推進するための支援策などを調査研究することで、京丹後市型の条例の制定及びコミュニティビジネス支援を検討し、地域及び集落の活性化を図る。					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>コミュニティビジネスの手法を活用した支援条例や支援施策などを調査研究するため、学識経験者や関係団体、市の関係課で組織する検討会を開催し、京丹後市型の条例の制定及びコミュニティビジネス支援の検討を行った。</p> <p>○水と緑の里・コミュニティビジネス支援条例（仮称）検討会</p> <p style="text-align: right;">委員数 17人</p> <p>第1回検討会 平成24年12月10日、第2回検討会 平成25年2月13日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員謝金（学識経験者 2回） 56千円</li> <li>・費用弁償（学識経験者 2回） 48千円</li> <li>・委員との事前協議旅費 20千円</li> </ul>					
主な財源						
評価・課題等	検討会を開催する中で、関係機関などで今後の地域課題解決のための手法の検討や支援策の必要性、今後の方向性について共有及び確認することができた。					
事業所管課	企画総務部／企画政策課					

予算科目	02総務費	01総務管理費	10地域振興費	11久美浜地域活性化推進事業		
細事業名	01 久美浜地域活性化推進事業				決算書	P.98
総合計画	基本方針	V パートナーシップ都市	計画項目	② 協働と共創のまちづくりの推進		
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
10,826千円		10,949千円	123千円	98.8%	0千円	
目的	久美浜町内の団体や事業者などが連携し、地域資源を活用した久美浜湾周遊観光を促進することで、一体となって活性化に結びつけていく。					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>友好都市である木津川市との交流を中心に地域資源を活用し、久美浜湾を中心とした周遊観光ツアーの開発、海産物や果樹、加工品などの商談会やカタログ作成、また、新たな久美浜の魅力創出のための食の開発など、生産者や加工事業者、観光事業者など異業種からなる久美浜まるごとプロデュース協議会というプラットフォーム組織を立ち上げ、連携しながら事業を実施した。</p> <p>○燃料費 講師との事前協議 7千円</p> <p>○過疎地域等自立活性化推進事業委託料 10,811千円  (委託先：特定非営利活動法人 わくわくする久美浜をつくる会：参画14団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友好都市木津川市を対象にしたモニターツアー（4回、99人）</li> <li>・名古屋圏からのツアー誘致（1社 4回、145人）</li> <li>・久美浜町内での異業種交流会（地元生産者と地元バイヤー）の開催（1回）</li> <li>・友好都市木津川市での久美浜産農水産加工品の試食会、商談会の開催（2回）</li> <li>・大阪の百貨店で久美浜フェアへの参画（1回）  開催期間：11月28日～12月4日、場所：JR大阪三越伊勢丹</li> <li>・特産品カタログの作成・配布（10,000冊作成、観光施設・商談会等で配布）</li> <li>・久美浜の食の開発コンテスト及び食の開発セミナーの開催（1回）  開催期間：1月7日～2月6日、コンテスト応募数：8、セミナー参加：36人</li> <li>・活性化のための研修会の開催（4回、70人）</li> <li>・ホームページの作成・運営</li> </ul> <p>○有料道路通行料 講師との事前協議 8千円</p>					
主な財源	国補	過疎地域等自立活性化推進事業交付金			10,000千円	
評価・課題等	<p>○友好都市である木津川市との交流を中心に久美浜町の魅力ある地域資源の発信やモニターツアーによる周遊観光ツアーの開発、地域の情報発信や再認識、発掘につながった。</p> <p>○生産者や加工事業者、観光事業者など異業種からなるプラットフォーム組織を立ち上げ、この事業を通じて、異業種の連携、ネットワーク化が図られ、今後の地域活性化の展開につながった。</p>					
事業所管課	企画総務部／企画政策課					

予算科目	02総務費	03戸籍住民基本台帳費	01戸籍住民基本台帳費	04郵便局サービス事業	
細事業名	01 郵便局サービス事業			決算書 P.110	
総合計画	基本方針	V パートナースhip都市	計画項目	② 協働と共創のまちづくりの推進	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額	
673千円		689千円	16千円	97.6 % 689千円	
目的	市役所から遠距離の地域の市民に身近な場所で利便性の高い行政サービスを提供するため、郵便局と市役所が連携し、各種証明書等の交付事務を実施する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	利便性の高い行政サービスを提供するため、「地方公共団体の特定の事務の郵便局における取扱いに関する法律」(平成13年法律第120号)に基づいて、市役所(市民課・税務課)と4郵便局(丹後木津(網野町)・中浜(丹後町)・野間(弥栄町)・野中(久美浜町))が連携し、郵便局窓口で戸籍謄抄本、住民票の写し、印鑑証明、納税証明の交付事務を行った。				
	○需用費				
	消耗品費(コピー代)、光熱水費(ファックス電気代)	66千円			
	○役務費				
	通信運搬費(ファックス通信費、郵送料)	396千円			
	手数料(公金取扱手数料)	1千円			
	○委託料				
	証明書発行事務委託料(4郵便局事務取扱手数料)	76千円			
	○使用料及び賃借料				
	ファックス借上料(郵便局4台、市民課1台)	134千円			
〈利用者人数、交付件数等〉					
	利用者人数	交付件数	月平均人数	月平均交付件数	
24年度	453	620	37.8	51.7	
23年度	477	611	39.8	50.9	
〈郵便局別各種証明書交付件数〉(平成24年度) (単位:件)					
	丹後木津	中 浜	野 間	野 中	合 計
戸籍謄本・抄本	13	8	1	4	26
住民票謄本・抄本・附票	55	81	8	31	175
印鑑証明書	257	104	13	33	407
所得、納税証明書	5	5	0	2	12
合 計	330	198	22	70	620
主な財源	手数料 印鑑登録証明等手数料	57千円			
	手数料 住民基本台帳等手数料	616千円			
評価・課題等	○平成23年4月末日に、ファックス機のリース期間(5年間)が満了したことにより、平成24年度の事業費は昨年度より減少し、交付1件当たりのコストは1,100円となった(平成22年度は4,100円)。 ○対象地域における行政サービスとして定着しているが(年間600件以上の利用)、費用対効果を検証しつつコンビニ交付の導入を検討しており、コンビニ交付を実施した場合は、地域によっては郵便局サービスの停止等の検討が必要。				
事業所管課	市民部/市民課				

予算科目	02総務費	01総務管理費	10地域振興費	02地域活性化事業			
細事業名	01 市民力活性化推進プロジェクト事業補助金					決算書	P.94
総合計画	基本方針	V パートナースhip都市	計画項目	② 協働と共創のまちづくりの推進			
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額		
7,500千円		7,622千円	122千円	98.3%	6,500千円		
目的	市民、団体及び行政の適切な役割分担と連携による地域の持続的な発展を図るため、地域の活力向上や課題解決に向けた取り組みを行う団体の活動支援を行う。						
主要な事務・事業及び成果の概要	○市民力活性化推進プロジェクト事業補助金 7,500千円 (単位：千円)						
	補助区分	団体名	金額	補助区分	団体名	金額	
	自然・環境の保全	金剛童子山を守る会	396	スポーツ・芸術の振興	丹後スポーツ障害事業実行委員会	305	
	地域の福祉	田村小学校閉校記念事業実行委員会	172	伝統文化の継承	京丹後(宿)おかみさんの会	309	
		湊地区活性化協議会	450		須田ふるさと委員会	485	
		京丹後よさこい連	302		久美浜一区自治振興会	351	
	地域の安全	京丹後市アマチュア無線災害ボランティア	500		芋野郷 赤米保存会	500	
	青少年の健全育成	丹後読み聞かせ実行委員会	410		独身者の出会いの機会づくり	NPO法人気張る！ふるさと丹後町	500
		絵を描く会	120		東日本大震災災害支援	ゆるボラ丹後の会	314
		丹後わくわくスポット「きらめき」	155	食と健康		318	
産業・経済の振興	丹後町体験観光組合	400	NPO法人エコネット丹後	151			
	海上ドライブ うら嶋船	221	NPO法人音楽のまちづくり	461			
	小天橋観光協会	200	合 計	22団体	7,500		
	海祭り実行委員会	480					
主な財源	繰入金 地域振興基金繰入金					3,000千円	
評価・課題等	○市民活動団体などが実施する地域の活力向上や課題解決などの取り組みに対して補助を行うことで、団体及び行政の適切な役割分担と連携による地域の持続的な発展の一助とすることができた。 ○事業への申請数が増加の傾向にあり、限られた予算の中で採択件数を増加させるために、京都府地域力再生プロジェクト支援事業交付金との併用申請を可能とするとともに、補助率及び限度額等を改正する必要がある。						
事業所管課	市民部／市民協働課						

予算科目	02総務費	01総務管理費	10地域振興費	50地域振興一般経費			
細事業名	01 地域振興一般経費					決算書	P.98
総合計画	基本方針	V パートナースhip都市		計画項目	② 協働と共創のまちづくりの推進		
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
41千円		62千円		21千円	66.1 %	62千円	
目的	市民参画と協働のまちづくりを推進するための事務経費等						
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職員旅費 <span style="float: right;">20千円</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 京都府地域力再生プロジェクト支援事業補助金に関する説明会（京都市） <span style="float: right;">10千円</span></li> <li>・ 京都府府民力推進課所管事業に関する説明会（京都市） <span style="float: right;">10千円</span></li> </ul> </li>   <li>○亀岡市セーフコミュニティ視察経費（H25.3.21） <span style="float: right;">21千円</span> <ul style="list-style-type: none"> <li>視察先：亀岡市役所、亀岡市千歳町自治会</li> <li>・ 奥大野区役員費用弁償（5人） <span style="float: right;">9千円</span></li> <li>・ 市民協働課及び大宮市民局職員旅費（2人） <span style="float: right;">3千円</span></li> <li>・ 公用車有料道路通行料 <span style="float: right;">2千円</span></li> <li>・ 視察先土産代（亀岡市千歳町自治会） <span style="float: right;">3千円</span></li> <li>・ 視察負担金（亀岡市役所） <span style="float: right;">4千円</span></li> </ul> </li> </ul>						
主な財源							
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○セーフコミュニティを研究中の地域に対して先進地の視察事業を実施し、セーフコミュニティ設置に向けた検討が進められている。</li> <li>○地域力再生及び府民力推進等に関する京都府事業説明会での内容を市民へ周知・案内した。</li> </ul>						
事業所管課	市民部／市民協働課						